

1-1 落花生の名前の由来は

- ① 地上で咲いた花が受精すると、花の子房の一部分が下に向かって伸び、地下にもぐって実になるから
- ② 地下で莢と実を付けるが、莢の形が花を活けるときに使う花生に似ているため
- ③ 落田花生さんと言う人が初めてこの植物を外国から持ち込んだという言い伝え

「はじめに」で既に書いたように、落花生の一番特徴的なこととして、地上で開花し、地下で結実ということが知られています。それが名前の由来になっているということですね。正解は①となります。ちなみに下に伸びていく針状の部分を子房柄とよびます。その先端部には受精胚があり、これが地下で肥大して実と莢になっていきます。莢にはくびれがありますが、その程度はさまざまで、またいくつもくびれているものもあり、サイズアップしても必ずしも華道の花生とならないと思われます。なお、中国では、落花生を花生(ホワシヨン)と呼ぶこともあるようですが、「落」を取り除くのは、縁起をかついでとのことでしょうか。わかる方がいたらお教えください。

落田さんご免なさい、勝手に作文しました。落花生の先覚者は何人かいると言われていますが、落田さんの名前は残念ながらあげられていません。また、先覚者といってもその人々が直接外国から持ち込んだという話はなく、本当に誰が最初に日本に持ち込んだのかは不明となっています。

正解 ①